

二四二七番

宇治川の瀬々のしき波うぢかは せせ なみ しくしくに 妹は心いも こころに
の 乗りのにけるかも

二四二八番

ちはやひと 宇治の渡りの瀬を速うぢ わた せ はやみ 逢あはずこ
そあれ 後のちも我あが妻つま

二四二九番

はしきやし 逢あはぬ見故こゆゑに いたづらに 宇治川うぢかは
の瀬せに 裳裾濡もすそぬらしつ

二四三〇番

宇治川うぢかはの 水沫みなあわさかまき 行く水ゆ みづの 事こと反かへらずそ
思おもひそめたる